

審 査 決 定 報 告 書

決算特別委員会

令和5年第3回水戸市議会定例会において当委員会に付託されました認定第1号（令和4年度水戸市一般会計及び特別会計決算認定について）の審査の経過並びに結果について、水戸市議会会議規則第101条の規定に基づき報告します。

当委員会は、第1回委員会を9月4日に開催し、正副委員長の互選を行い、委員長を小泉康二、副委員長を鬼澤真寿君に決定しました。

続いて、9月19、20、21日にそれぞれ委員会を開催し、提出された決算書及び審査資料を中心に、種々質疑応答を行うなど、その内容について慎重に審査を行った後、採決の結果、認定第1号は、賛成多数をもって、認定すべきものと決定しました。

なお、委員会の審査を通じ、今後の市政運営上留意すべき事項として各委員から出された主な意見は、次のとおりであります。

審 査 意 見

1 一般会計について

(1) 歳入について

ア 市税の収納については、個々の事案に応じて、丁寧な納税相談を行うなど、引き続き収納率の向上に取り組まれない。

イ 水戸黄門ふるさと寄附金については、本市への寄附額増加につながるよう、魅力ある返礼品目の選定やPRの強化など積極的な取組に努められない。

(2) 歳出について

ア 将来にわたり持続可能な財政運営を堅持するため、中長期的な財政見通しの下、市民サービスの維持、向上を図りながら徹底した行財政改革に取り組まれない。

イ 移住・定住促進事業については、より多くの方に本市のよさを知ってもらうため、本市の魅力発信に積極的に取り組むとともに、移住希望者に対しては丁寧な対応に努められない。

ウ 水都タクシー事業については、地区会等との連携により利用者ニーズを把握し、サービスの向上を図りながら利用促進に努め、持続可能な交通サービスとなるよう取り組まれない。

エ 子どもの医療福祉費助成制度については、子育て支援の充実の観点から、一部負担金の免除を図るなど、さらなる制度拡充について検討されたい。

オ がん検診受診率の向上に向け、ウェブ予約の利用促進や市民センターにおける受診機会の拡充を図るなど、市民が受診しやすい環境づくりに取り組まれない。

カ 米価の下落や物価高騰等の影響により、厳しい経営状況にある農業従事

- 者に支援が確実に行き届くよう、積極的な予算の執行に努められたい。
- キ 産業活性化コーディネーター及び企業誘致コーディネーターの活用に当たっては、地域経済の活性化や企業誘致による新たな雇用創出に向け、戦略的な取組を推進されたい。
- ク エネルギー価格高騰対策事業者緊急支援金において多額の不用額が生じたことを踏まえ、今後の支援に当たっては、実態調査の強化などにより対象の精査に努められたい。
- ケ 市道の維持、補修については、欠損等の情報収集を迅速かつ効率的に行うため、ICTの活用や事業者等との連携を図るなど、より効果的な手法の導入を検討されたい。
- コ 少年自然の家については、より多くの方に活用してもらえよう、積極的な呼びかけを行い、引き続き施設の利用促進に努められたい。
- サ 土地開発基金については、長期保有地の計画的な解消を図るとともに、将来の需要を見据えた基金の在り方について検討されたい。

2 特別会計について

(1) 歳出について

- ア 公設地方卸売市場事業会計については、市場の再整備に当たり、施設を使用する事業者の意見等を踏まえ、計画的かつ迅速に事業を執行されたい。
- イ 母子父子寡婦福祉資金会計については、貸付金を必要とする方により多く利用されるよう制度の周知徹底を図られたい。

上記の意見に加え、委員から、決算特別委員会の運営に係る意見として、「議員各位は、発言に際して、決算認定審査の趣旨から逸脱することのないようにしなければならず、発言通告及び資料請求についても発言内容に即して、論点を明確にするよう努めるべきである」との発言があったことも併せて報告いたします。

上記のとおり報告する。

令和5年9月25日

水戸市議会議長 大津 亮 一 様

決算特別委員会
委員長 小泉 康 二